
戦国BASARA×アニメキャラで逃走中

鶴久保ゆうすけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦国BASARA×アニメキャラで逃走中

【Nコード】

N5845X

【作者名】

鶴久保ゆーすけ

【あらすじ】

戦国BASARAのキャラクターとアニメキャラが逃走中をすることに！？100分の逃走劇を逃げる者は誰なのか！そしてこの逃走劇を監視するのはゲームマスターの月村サトシ。様々なミSSIONとドラマが逃走者たちを走らせる！無双OROCHIにでてる月村サトシの話とはまた異なります！では英雄たちの逃走劇をごらんあれ！

逃走者紹介

戦国BASARA（前書き）

戦国BASARAの逃走者たちです。

逃走者紹介

戦国BASARA

・伊達政宗

奥州の竜と言われる若きカリスマ。真田幸村とはライバル関係にあたる。足は速くミッションは積極的。

・真田幸村

武田家に仕えるわかき熱血漢。何事にも向き合う強き思いを持つ。足は速くミッションにも積極的。

・石田三成

西軍総大将。秀吉と半兵衛を強く慕うが家康には、にくしみを抱いている。足は速いがミッションには特にいかない。

・片倉小十郎

政宗が背中を任せている唯一の人物。己を抑えて伊達軍を陰で支える。足は速く政宗のためならミッションには行くつもり。

・前田慶次

自由気ままに生きる事を望む風来坊。明るい性格で前田利家の甥。
足は速くミッションには積極的。

・長曾我部元親

虎視眈々と天下をねらう四国の風雲児。仲間をけっして見捨てない
ため部下からアニキと慕われている。足は速くミッションには積極
的。

・毛利元就

詭策に自信を持つ毛利軍大将。利己的な策を練り勝利へと導く。足は速くミッションには特に興味はないらしい

・徳川家康

人々を結ぶ絆の力を掲げ天下人をめざす徳川軍、および東軍総大将。足は速くミッションには積極的。

・ 浅井長政

信長の妹・お市を妻に持つ戦国の世にはびこる悪に立ち向かう、足は速くミッションには積極的。

・ お市

信長の妹にして長政の妻。怪しく艶やかな美しいさをまとっている。足は速くミッションはあまり行かない

・ 風魔小太郎

傭兵として北条家に仕える忍。その素性は多くの謎に包まれている。
足は速くミッションは主のためなら行く。

・武田信玄

天下をおさめるため上洛をめざす甲斐の武田家総大将上杉謙信とは
ライバル。足はややおそくミッションは積極的に行くつもり。

・猿飛佐助

武田家に仕える真田忍隊の長で飄々とした性格。かすがとは同郷の仲。足は速くミッションはきまぐれで行く。

・上杉謙信

軍神の名でよばれる戦いの天才。武田信玄とは互いに認め合うライバル。足は速くミッションには機会があれば行く。

・かすが

謙信に仕えるくのいちで謙信にぞっこん。佐助とは同郷で感情的な所もある。足は速くミッションには謙信のためなら行く。

・豊臣秀吉

日ノ本を強国にするため立ち上がった誇りたかき霸王足はおそいが力は誰にもまけない。ミッシヨンは特に行かないらしい。

・竹中半兵衛

戦国一の最高と証される天才軍師。親友である秀吉を強く信頼する。足は速くミッシヨンは秀吉のためなら行く。

・前田利家

妻のまつが作る飯が何よりの好物。穏やかな性格の前田家当主。足は速くミツシヨンは慶次やまつのためなら行く。

・まつ

利家の妻。前田家隆盛のために利家を支えるしっかり者。足は速くミツシヨンは利家や慶次のためなら行く

・いつき

一揆衆を率いる農民の少女親衛隊もいるらしい。勇敢な性格で足は速くミッションには行くつもり。

以上がBASARAの逃走者です。

でてきてない人々はドラマに登場します。

次はアニメキャラの逃走者紹介です！

逃走者紹介

戦国BASARA（後書き）

つぎはアニメキャラその一の逃走者紹介です

逃走者紹介 アニメキャラその1 (前書き)

更新おそくなったー！

逃走者紹介 アニメキャラその1

涼宮ハルヒの憂鬱

・涼宮ハルヒ

SOS団の団長でわがままで強引だがかわいい所もある。足は速くミッションには積極的。

・キヨン

SOS団部員。何かとツツコミ役でハルヒに振まわされることが多い。足は速くミッションには積極的。

・長門有希

SOS団専属の無口キャラでいつも本を読んでいる。足は普通でミッションにはたまに行くらしい。

・朝比奈みくる

SOS団専属のマスコットキャラ。天然でふんわりとした雰囲気。

足は普通でミッションはあまり行かない

・古泉一樹

SOS団専属の美少年キャラ。謎の部分があったりもする。足は速くミッションには行くときはいくらしい

・鶴屋さん

お金持ちでハルヒと一緒にみくるを愛でている。元気いっぱい、足は速くミッションには積極的。

逆境無類カイジ

・カイジ

ギャンブルをテーマにした舞台で活躍中。しらさんのリクエストキ
ャラ。足は速くミッションには積極的。

ギャグマンガ日和

・聖徳太子

十七条の憲法や様々なきまりを作った。妹子にからんでくる。足は普通でミッションには行くときはいく。

・小野妹子

聖徳太子にからまれる。足は速くミッションにはたまに行くらしい。

ポケットモンスターBW

・トウヤ

主人公♂でトウコとは幼なじみで強いポケモントレーナーをめざしている。足は速くミッシオンには積極的

・トウコ

主人公♀でトウヤとは幼なじみでポケモンミュージカルが大好き。足は速くミッシオンは積極的。

・N

プラズマ団をまとめあげた王。じつは幼いころからのトラウマがある。足は速くミッションは行くかもしれない。

・チェレン

トウヤと共に強きポケモントレーナーになるため修業をしている。足は速くミッションには積極的。

・ベル

おっちょこちょいだが純粹でトウコとはポケモンミュージカルファンの仲。足は普通でミッションは行くらしい。

・ノボリ

サブウェイマスターで双子のクダリの兄。敬語で「まし」と語尾に付ける話し方が特徴。足は速くミッションは積極的。

・クダリ

サブウェイマスターで双子のノボリの弟。強気な所もだが甘えん坊。足は速くミッションには積極的。

・ゲーチス

Nの父？ポケモンを人間から解放するべくNやプラズマ団と共に活躍をする。足は速くミッシェンはあまり行かない。

ベストウィッシュ

・サトシ

イッシュリーグにでることをめざしデントとアイリスと共に旅をする。足は速くミッションには積極的。

・アイリス

ドラゴンポケモンを愛する野生的な少女。きのみを探すのが得意。足は速くミッションには積極的。

・デント

一流のポケモンソムリエをめざすサンヨウシティのジムリーダーの
1人。足は速くミッシェンには積極的。

そして！

次回 逃走者紹介

逃走者紹介 アニメキャラその1 (後書き)

アニメキャラ紹介まだ続きます。

逃走者紹介 アニメキャラその2 (前書き)

逃走者紹介はここまで！続いてはオープニングゲーム

逃走者紹介 アニメキャラその2

けいおん！

・平沢唯

担当はリードギターとコーラスとボーカル。うたうときは早口だがのんびりでほんわかした性格。足は普通でミッションには積極的。

・秋山澪

担当はベースとボーカルとコーラスで大人っぽいルックスと優しい姐御口調が特徴的。緊張しすぎて気絶してしまう事も。足は速くミツシヨンには積極的。

・田井中律

担当はドラムスで軽音学部の部長。ムードメーカーで大雑把で豪快な所が特徴的足は速くミツシヨンには行くつもり。

・琴吹紬

担当はキーボードでおっとりとしていて濃厚な性格。典型的なお嬢

様。足は普通でミッションには行くときはいく。

・中野梓

担当はリズムギター―真面目で純粹でからかわれるとおおげさな所と子供っぽい態度がでる。足は速くミッションには積極的。

銀魂

・坂田銀時

「万事屋銀ちゃん」通称何でも屋を営んでいる銀ぱつの天然パーマの侍。足は速くミッションには積極的。

・志村新八

銀時の元で働く地味な少年誠実で銀時や神楽と悪のりをすることも。足は普通でミッションには積極的。

・神楽

万事屋の中でもずばぬけて戦闘力がたかい。新八の事をだメガネとよぶ。足は速くミッションには積極的。

・土方十四郎

クールで熱い真選組副長で大らかな近藤とは対照的にスパルタな言動と行動でうごき隊をひっぱっていく。足は速くミッションには積極的。

・近藤勲

隊士たちから多くの信頼をあつめている真選組局長でどのキャラよりも下ネタ的行動が多い。足は速くミッションには積極的。

・ 沖田総悟

真選組一番隊の隊長でさわやかな美少年だがかなりのドSでナイーブな所があるあだ名はサド王子。足は速くミッションにはいざとなったら行く。

・ 山崎退

真選組の監察方（密偵）「ジミー」や「ザキ」とよばれている。じつはドMの一面もありその事を沖田に知られ弱みをにぎられている足は速くミッションには積極的。

・桂小五郎

銀時の幼なじみであり美男でエリザベスをペット兼相棒にしている。
足は速くミッションには積極的。

以上BASARAキャラまでいれて・・・

53人の逃走者たちです！

数え間違いじゃないと思いますけど。

次回 逃走者たちが挑戦する、オープニングゲーム！

逃走者紹介 アニメキャラその2 (後書き)

オープニングゲームは何にしようか思い付かない

オープニングゲーム 逃走者たちの挑戦！(前書き)

走る英雄たちも更新しなきゃな

オープニングゲーム 逃走者たちの挑戦!

ゲームの舞台に集められた逃走者たち。

彼らは恐怖と欲望のオープニングゲームに挑む。

「これよりゲームをはじめる」

辺りからアナウンスが流れた。

幸村 「おーぷにんぐげーむ？何でござるか、それ」

佐助 「旦那、まず説明聞こうよ」

「君たちの前には1体のハンター、彼はボックスのなかにいる」

逃走者たちがハンターを見る。

「そしてこの53本の鎖の中にはハンターを解放させるハズレの鎖が1本、それを引くとハンターが解きはなたれゲームがスタートする」

政宗「Ha! おもしれえじゃねえか」

逃走者たちは事前に抽選で鎖を引く順番をきめていてそしてー

1番に鎖を引くのは・・・

幸村「ええ！？オレが引くのか」

武田家に仕える真田幸村だ

政宗「幸村！しょっぱなからハンターだすなよ」

佐助「竜の旦那！あんまりプレッシャーかけないでよ」

幸村「むっ・・・では」

幸村が選んだ鎖は・・・

幸村「やはりここは情熱の赤でござる！」

佐助「あはっ、旦那らしいや」

唯「あの赤の人格好いいね！」

滯「そ、そうだな・・・」

幸村が鎖を持つ。

幸村「行くでござる！」

慶次「うひやあー！こええなこれ」

ジャラ！

幸村「ん・・・あれ？」

セーフ

政宗「運のいいやつだな」

佐助「旦那ー！先に逃げて」

幸村「え？あっ！そうでござった」

クリアした逃走者はエリアに逃げる事ができる。

次に鎖を引くのは・・・

サトシ「オレか」

アイリス「頑張っ
てね！サトシ」

ポケモンマスターをめざすサトシだ。

サトシ「うーん・・・よし」

サトシが選んだ鎖は・・・

サトシ「オレは黄色にするぜ！」

デント「何でだい？」

サトシ「ピカチュウの色だから！」

アイリス「なるほど・・・」

サトシは鎖を持つ。

サトシ「それじゃー引きます！」

ジャラ！

サトシ「うおっ！あぶな・・・」

セーフ

この後

神楽が緑を引いてクリア。

長曾我部元親が紫を引いてクリア。

デントがカーキを引いてクリア。

カイジが黄緑を引いてクリア。

近藤勲が藍色を引いてクリア。

次に鎖を引くのは・・・

アイリス「よし！頑張らなくっちゃ」

サトシやデントと共に旅をしているアイリスだ。

唯「アイリスちゃん！何色にするの？」

アイリス「そうねーまだたくさんあるしな・・・」

沖田「なんかあいつ引きそうですぜ」

山崎「だめですよ！そんな事いっちゃ」

アイリス「よし、これにする！ピンク」

アイリスはピンクの鎖を持った。

アイリス「じゃ引くよー！」

ジャラ！

アイリス「ひゃ! あぶなかった」

セーフ

次に鎖を引くのは・・・

山崎「オレですか・・・」

沖田「よし、ジミー！ハンターだしてこい」

山崎「何ですか！まったく・・・」

山崎は鎖がある場所に立った。

山崎「まだこんだけあるんだから・・・オレンジにします」

山崎は鎖を持った。

山崎「引きます！」

ジャラ！

ガタンッ！

山崎「ひゃあああ！？」

山崎以外「うわあああ！」

G
A
M
E
S
T
A
R
T

山崎「うわぁー!?!」

ハンターは山崎を視界にとらえた。

ポンッ 山崎退確保 残り52人

山崎「速い・・・ぜえっ、はあっ・・・」

ピリリリリリリリ

沖田「メールだ・・・ザキのやつ捕まったか」

唯「えっ？山崎さん、捕まった・・・」

三成「もう確保だと・・・」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる。

それが・・・

rank for money 逃走中

舞台はとある王国。

この国には3つの不思議な扉があり別の空間に繋がっていると
われている。

エリアは東京ドーム3個分

賞金は1秒100円ずつあがり逃げきれば全額を獲得できる。

またこのゲームはリタイヤする事もできその時点までの賞金を獲得できる。

ただしエリアにはハンターがいて捕まれば賞金は0円だ

はたして逃げきる者は現れるのか!?

次回 逃走者の欲望が沸き立つミッション!

オーブニングゲーム 逃走者たちの挑戦！（後書き）

ミッションは逃走中を参考にしました

ミッション パート1 (前書き)

1秒900円の100分間ですごい金額になるのかな

ミッション パート1

太子「にぎやかな場所だなあ・・・」

エリアを移動する聖徳太子

妹子「おや太子！」

そこで小野妹子と合流。

太子「そっちにハンターいたか？」

妹子「いえ、ん？」

携帯が鳴った。

太子「何だ？えっ・・・ミッション？」

妹子「みたいですね・・・」

逃走者たちに届いたミッションのメール。

近藤「君たちに賞金単価をアップするチャンスにあたえる・・・え！？マジか」

カイジ「エリアにある1つずつある200円、300円、400円のチケットを賞金単価増額箱に納めるとその分賞金単価をアップできる」

慶次「全部のチケットを納めると賞金単価は900円にアップする！？すげえ・・・」

土方「ただし1枚納めるごとにハンターを追加するので気をつけたまえ・・・って」

梓「どれだけ追加されるかわからないのかな？うわ・・・行っているのかなあ」

MISSION 賞金単価をアップせよ！

エリアにある200円、300円、400円のチケットを賞金単価増額箱に納めるとその納めた分の金額だけ賞金をアップできる。

全部のチケットを納めたら900円賞金をアップできる

ただしチケットと賞金単価増額箱は逃走者が探さなくてはならない。

幸村「うむ、どうしたらいいのだろうか・・・」

佐助「でもハンターどれだけ増えるかわからないんでしょ？オレ様は行かないね」

幸村「真か！でも賞金増えたら・・・」

佐助「旦那は行くの！？ハンター増えるんだよ」

幸村「でも・・・どうしたら！あつ」

佐助「やべえ！」

幸村たちがある方向を見た

ハンターだ。

幸村「はっ、ハンターでござらあ!？」

佐助「もう!捕まるなんて御免だぜ、逃げるよ旦那」

佐助と幸村は走りだし建物の辺りに移動した。

佐助「あっぶね」

幸村「うまくまいた様でござるな」

ハンターに気づくのがはやかったのでうまくまいたようだ。

佐助「他の逃走者たちはどうしてるのかな」

幸村「むっ！佐助、どこに行くのだ」

佐助「ちよつと偵察！旦那捕まんなよ」

そう言う佐助はすばやく走りだしていった。

トウヤ「はあっ、ミッション行こうかな」

トウコ「行くのか、うーん」

ミッションに行くのか話し合っているトウヤとトウコ。

サトシ「あっ！」

そこにサトシがやってきた

トウコ「あっ！サトシだ」

トウヤ「ミッション行くのか？」

サトシ「まあな！賞金ゲットして旅の費用にしようかなんて」

サトシはそう言ってじゃあな、とトウヤとトウコに一言いって走っていった。

トウヤ「サトシに悪気はないんだよな」

トウコ「そうかもね」

ミッションに向かっていくサトシ。

はたして賞金はいくらになるのか!?

次回

欲望のためにミッションへ向かう逃走者たち！

ミッション パート1 (後書き)

更新はこのぐらいのペースでいこうと思います！

ミッション パート2 (前書き)

順調に更新中です

ミッション パート2

ハルヒ「チケットどこかしら〜」

チケットを探すハルヒ。

鶴屋「おや、ハルヒちゃん！何してるんだい？」

そこに鶴屋が合流。

ハルヒ「鶴屋さん！じつはミッションしようかなって」

鶴屋「そうかい！私はハンターだすのはどうかなって思ってたさ」

ハルヒ「でも賞金アップしたほうが他の逃走者たちのにも利益があるんじゃないかしら？」

鶴屋「でもハンター増えちゃうからねえ」

ハルヒと鶴屋が話すなか・・・

近くにハンター・・・

鶴屋「ん？あれは・・・うわっ」

ハルヒ「鶴屋さん！どうした・・・きゃあ！！」

ハンターがハルヒと鶴屋に向かい走ってきた。

ハンターが視界にとらえたのは・・・

ハルヒ「きゃああ！まだ10分もたっていないのに」

鶴屋「ハルヒちゃん・・・御免！」

そう言っていると鶴屋はハルヒを追いこして曲がり角をまがった。

ハルヒ「きゃあああ！！」

ポンッ 涼宮ハルヒ確保 残り56人

ハルヒ「うわぁー、悔しい〜！」

ピリリリリリリ〜

キヨン「ん？何だ・・・確保情報・・・」

みくる「ハルヒちゃん捕まっちゃいました・・・」

サトシ「これって残り何分までとかないのかな」

チケットを探すサトシ。

一方、ここはクロノス社

ここには逃走中を監視するゲームマスターの月村サトシがいた。

月村「しまった！」

月村は机を叩き立ち上がった。

望月「どうしました？」

そこに月村サトシの助手の望月ミレイが言った。

月村 「残り何分までとか・・・ミッシヨンのなかにいれてなかった
！」

望月 「通達か何かで伝えればいいじゃないですか？」

月村 「あつ、そうか！」

月村は画面へと向き直る。

ピリリリリリリ

サトシ 「ん？何だ・・・通達だ」

いつき 「残り80分までこのミッションはできる、ただし」

ノボリ 「ミッションがおわったあとにハンターの数が発表される・・・
・そういうことですか」

幸村 「なんと制限時間があるとは・・・」

通達のメールを見ていた幸村そこに

カイジ「あっ！」

カイジが合流。

幸村「カイジ殿！ミッション行くでござるかぁー」

カイジの元へ走る幸村。

カイジ「うわぁ！そんな大声だすなよ、ハンターに見つかるだろ！
」

幸村「も、申し訳ござらぬ！それでミッションは？」

カイジ「そうだな・・・うまくチケットを箱にいれたら賞金はアツ
プ・・・だがハンターに捕まれば賞金は貰えないって訳だしな」

カイジは考え込む。

カイジ「ある意味・・・賭けだな」

幸村「カケ？」

カイジ「よし！オレは行く」

カイジは幸村に背を向けて走りだす。

幸村「カイジ殿！どこへ！」

カイジ「オレはミッションをしに行く！オレがどこまでできるか試したいんだよ」

そう幸村に言った。

幸村「カイジ殿・・・よし某も負けてられぬ」

カイジが走って行った方向へ幸村もはしりだした。

漑「はあっ・・・ミッションどうしようか」

通達のメールを見ながら歩く漑。

滯「でも私がミッションしてハンター増えたら他の逃走者たちに迷惑かけるしな・・・」

とぼとぼ歩いていくなか・・・

荷物が積んである場所に通リ掛かったときだった。

滯「あれっ・・・！」

滯は荷物が積んである場所に置いてあった箱に何かが張り付いてい

るのを見つけた。

漣「もしかして・・・」

その箱は賞金単価増額箱と200円のチケットだった。

漣「うそっ！私が見つけた・・・これメールしたほうがいいよな」

漣は携帯をとりだしメールを打った。

漣「うーん・・・箱、これにこのチケットをいれたら賞金が2000円になる・・・」

メールを打ちながら呟いた漣。

漣「よし、一斉送信と！」

漣のメールが他の逃走者たちに送信された。

そして携帯をしまいチケットをにぎる。

漣「ああ！もう、みんな御免！！」

漣は握っていたチケットを箱のなかに入れた。

賞金200円アップ。

漣「よしここに置いてこうか・・・」

箱を荷物の辺りに置いて滯を走っていった。

次回 逃走者たちが箱のありかを知ったそのころ別の場所で物語が動きだす！

ミッション パート2 (後書き)

次からはドラマパートがはいってきます

ミッション パート3 そして物語（前書き）

久しぶりの更新！

ミッション パート3 そして物語

滞りが2000円のチケットをいれた事により賞金単価は1秒2000円になった。

カイジ「チケットどこだ」

チケットを探しにエリアを走るカイジ。

元親「チケットってやつを探しやいーんだろ？」

沖田「金がありゃしばらく真選組も安定するな」

いつき「賞金あげて故郷に持ち帰るべ！」

この3人もミッションに向かうようだ。

佐助「何でミッションやるんだよ！ハンターどれだけ増えるかわからないのに」

幸村「うむ・・・」

一方

このエリアには3つの大きな扉がある。

その扉にはそれぞれ別の空間に繋がっているといわれている。

そしてこの扉のなかでおこる物語は逃走者と無関係ではなかった。

まず第一の扉の物語。

久秀「ほう、それでこの街には宝があるとな？」

男に聞かれ兵は頷いた。

久秀「成る程、ではこの街に兵をつれて向かう準備をするか」

そう言って男は立ち上がり兵の横を通りでて言った。

この男の名は松永久秀。

かつてBASARA者たちとの戦いで敗れそれから行方がわからなくなっていた

だがこの男はまだ諦めてはいなかった。

久秀は兵を使い逃走劇の舞台である街に宝があることを知った。

その宝は伝説の武士が残したと言われている宝であり街のひとや逃走者はこの宝の事を知らない。

その情報を一番にしたのが松永久秀だった。

久秀「さてと・・・」

兵「松永様！」

兵が久秀の元に駆け寄る。

久秀「どうした？」

兵「はっ！じつは宝のある街にあのBASARA者たちがいるとの情報が・・・」

久秀は黙って兵の話をきいていた

久秀「ならば丁度いい、あの時の戦いで味わった屈辱はらしてもら
うぞ」

そう言って怪しく笑った久秀は兵をつれてその場をあとにした。

これが第一の扉の物語。

そのころ逃走者たちは・・・

政宗「ミッションあと10分か・・・」

小十郎「政宗様、ミッションはするのですか？」

共にいる政宗と小十郎はミッシヨンの話をしていた。

政宗「まあオレは逃げきることに専念するからよ、まずこのミッシヨンは行かねえ」

小十郎「では政宗様の背中はこの小十郎がお守りいたします」

そう言うと政宗と小十郎は辺りを警戒しながら走って行った。

そしてー

月村「ん？」

モニターで逃走劇を監視していた月村サトシは画面を見た。

望月「どうしました？」

月村に望月ミレイがたずねた。

月村「この3つの大きな扉は何だ？」

望月「えっと・・・」

望月ミレイは画面を見て調べはじめた

望月「これは・・・時の扉ですね」

月村「時の扉？」

望月「ええ、この扉たちはそれぞれ別の空間に繋がっているそうです」

月村「別の空間に繋がっている!？」

望月「と言われているそうです」

月村「ああ、そういうことか」

月村は画面を見つめた。

望月「あとこの街には伝説の武士が残した宝があるそうですね」

月村「宝・・・なんか物語がありそうだな」

月村は画面に向き直った。

次回 ミッションの結果！

ミッション パート3 そして物語（後書き）

なんか更新おそい

ミッション パート4 (前書き)

続けて更新〜！

ミッション パート4

カイジ「チケツト・・・どこにあるんだ？」

チケツトを探すカイジ。

カイジ「ん？」

幸村「おっ！カイジ殿また会いましたな」

再びカイジは幸村と合流。

カイジ「そうだな・・・あれ、幸村だったよな？その肩に付けてんの何だ」

幸村「うむ？」

幸村はちらりと肩を見た。

幸村「ぬおおっ！これは、えっと・・・チケットでござるか」

カイジ「何で肩に・・・じゃミッション行つて」

幸村「カイジ殿が行ってください！」

幸村がカイジの言葉をさえぎり言った。

カイジ「はっ？」

幸村「カイジ殿は己はどこまでできるか試したいと申した！では、カイジ殿」

幸村はチケットをカイジにわたして走っていった。

カイジ「まったく・・・さて」

カイジはミッションに向かい走りだした。

そしてミッション残り5分

カイジ「たしかあのメールだとこの辺なんだけどな」

滞からのメールを見ながら箱を探すカイジ。

はたしてミッション成功なるのか

カイジ「あっ！もしかしてこれか？」

カイジは賞金単価増額箱をみつけた。

カイジ「よし！これで・・・」

カイジはチケットを箱のなかに入れた。

カイジ「おっと・・・ミッションの結果だ」

逃走者たちのもとへミッションのメールがとどいた

律「おっ！ミッションの結果だ！何々」

キヨン「滯・カイジの活躍により賞金単価は500円になった・・・
よって」

トウヤ「ハンター5体追加!? マジかよ・・・」

滯「うわゝこんなに増えるなんて」

カイジ「よし、逃げきるぞ!」

ハンターが6体になり少し状況が不利になった逃走者たち

しかしー

月村「ミッション成功か」

望月「そうですね、次のミッションはどうしますか？」

月村「それじゃ、これはどうだ？」

月村は画面をタッチしてあるものを表示した。

望月「これは・・・」

エリアからはなれた場所に召喚されたハンターリムジン

そのなかには10体のハンターがのっていた。

月村「さあ、どうする逃走者たちよ！」

さらなるミッション逃走者たちを追いつむ！

次回

あらたなミッションと第二の扉の物語

ミッション パート4 (後書き)

ハンターって何であんなに速いんだろうな

時の扉とミッション(前書き)

涼宮ハルヒが捕まったときに残り人数が51人の所を56人になってました！次からは間違えないよう気をつけます

時の扉とミッション

土方「けっ！一秒500円になったからってハンター6体になったじゃねえか」

沖田「ミッションした奴しばきますか？」

近藤「まあまあ！そこまでしたくていいーだろ」

エリアを移動する真選組の者たち。

しかしー近くにハンター・・・

沖田「あつ、土方さん」

土方「何だ？」

沖田「ハンターですぜ」

土方「そりゃハンター増えたんだから・・・え？」

近藤「うわああ！逃げろ」

ハンターが真選組たちを見つけ走りだす。

沖田「じゃオレはひと足さきに逃げさせてもらいますぜ」

そう言うとき沖田はすばやく曲がり角をまがり走っていった。

土方「ちくしょー！あの野郎」

近藤「トシ！逃げることに集中するんだ！！」

ハンターが視界にとらえたのは・・・

近藤「ぐああ！」

土方「近藤さん！？わりっ」

近藤「えっ！トシー！！」

ポンッ 近藤勲確保 残り50人

ピリリリリリリ

政宗「おっ！Mailか」

太子「近藤勲確保か・・・」

銀時「あゝこれで真選組の奴ら2人捕まったな」

そのころ王国では

王妃^{カミツレ}「今日もいい天気ね」

城のなかで窓を見ながら王妃が呟いた。

国王（高杉）「よお、何してるんだ？」

国王は王妃の元へ駆け寄った。

王妃^{カミツレ}「街の様子はどうかしら？」

王国（高杉） 「ああ、いつもと同じだ」

この国王と王妃は街の住民たちを支え続け立派な国に築きあげた。

そしてその様子を月村サトシが見ていた。

月村 「よし、あれをエリアに送るぞ」

望月「はい・・・では送ります」

月村サトシの指示により望月ミレイはあるものをエリアに送った。

住民「何これ？」

貴族「何なに・・・伝説の武士が残した宝だと!？」

住民たちはエリアに送られた紙をみるなり騒ぎだした

それは月村サトシによってクロノス社から送られたもの。

その紙には王国のどこかに伝説の武士が残した宝があるとかか
れていた。

王国にあるいくつかの街をその紙が住民たちを騒ぎ立てた

そしてその紙を拾った逃走者たちも・・・

元親「伝説の武士が残した宝あ！？こいつはほっとけねえな」

宝に興味を抱いた元親。

元就「まったく誰がこんなものを・・・」

横であきれる元就。

漣「伝説の武士が残した宝ねえ、住民たちが騒いでるのはこの紙のせいかな？」

エリアは住民たちが騒ぎ逃走者たちもその様子に気づいた。

そして

月村「逃走者たちにミッションを送るぞ！

望月「はい、わかりましたでは」

ピリリリリリリ

幸村「うむ、何だ・・・ミッション？」

妹子「エリアのそとにハンターリムジンが召喚された」

トウコ「残り60分になるとハンターリムジンがエリアに到着して10体のハンターがエリアにはなたれる」

神楽「エリア内にある10個のレバーを降ろせばハンターリムジンを追い返すことができる・・・なんだか大変ネ、このミッション」

MISSION ハンターリムジンを追い返せ！

ハンターリムジンがエリアに向かっている。

エリア内には10個のレバーがありすべてのレバーを降ろせばハンターリムジンを追い返すことができる

ただしエリアには6体のハンターが逃走者たちを搜索しているためミッションにはリスクがともなう

はたしてミッションをやる勇敢な逃走者は現れるのか!?

一方・・・

王妃^{カミツレ}「ちょっと！これは何なの？」

王妃がエリアに送られた紙を国王にみせる

城のなかはこの紙で騒いでいた。

国王（高杉）「オレが知るかよ・・・まったくこんな紙だが」

エリアが宝の紙で騒いでいるなか

第二の扉の物語が幕をあけるー

時は数年後の世界ー

逃走者たちのエリアになっている王国の隣にある国

そこでも伝説の宝の噂はひろまっていた。

王妃^{ピーチ}「はぁ・・・何か暇ねえ」

国王^{マリオ}「そうだな・・・あっ！隣の国でも観察に行くか」

大臣^{クツパ}「たつ、たいへんだ〜！」

大臣のクツパが国王と王妃のもとへ駆け付けた。

王妃^{ビーチ}「何よ、騒がしいわね」

大臣^{クツパ}「はあつ、隣の国に・・・宝があるとの情報が」

国王^{マリオ}「宝だとお！」

大臣^{クツパ}「しかし過去にその宝があると・・・」

国王^{マリオ}「何だよ！それゝゲットしようと思ったのに」

大臣^{クッパ}「しかし・・・隣の国には別の空間に繋がっているといわれる扉があります、その扉で過去に行けるのでは？」

大臣のクッパの提案にマリオがうなずいた。

国王^{マリオ}「なるほど！よし、ピーチ！さっそく隣の国に行くぜ！」

王妃^{ピーチ}「はあ！？ちょっと・・・待ちなさいよマリオ！」

こうしてこの国の国王と王妃は隣の国に向かった。

大臣のクツパが怪しい笑みをうかべているとも知らずに・・・

これが第二の扉の物語。

次回 逃走者たちがミッションしているときにドラマにでている
人たちの紹介&逃走中の予告編！

時の扉とミッション（後書き）

次回はドラマパート紹介です

いまさらだけどドラマパートにでてくる者たち（前書き）

連続で更新です！

いまさらだけどドラマパートにでてくる者たち

第一の扉

・松永久秀

B A S A R A 者たちの戦いで敗れ行方がわからなくなっていたが別の場所で復活をはたし逃走者たちのいる街に宝があると知り兵と共にエリアに向かった。

・織田信長

第六天魔王とよばれる力の持ち主、濃姫の夫であり蘭丸にはやさしい一面をもつ

・濃姫

織田信長の妻で蘭丸の母親役でお市とは何かと因縁の関係。

・森蘭丸

信長と濃姫を信頼する少年いつきの事をばかにしたりすることも、
こんぺいとうが大好き。

・明智光秀

信長に謀反をおこし数々の者たちをひれ伏しさせた。蘭丸とは敵対している

第二の扉

・ピーチ

逃走者たちがいるエリアの隣の国の王妃。カミツレ王妃とは幼なじみの関係。

・マリオ

隣の国の国王でピーチにラブ。大臣のクッパとはピーチをとり合い見事に勝利。

・クッパ

大臣をしていて、マリオとピーチの仲を不満に思うが何をかんがえているか詳しくはわからない

エリア

・カミツレ

王妃でピーチとは幼なじみの関係で高杉の妻。過去にジムリーダーをしていた。

・高杉

国王でカミツレの夫で銀時とはむかしの戦いでライバルになった。

三の扉の物語は本編にて！

次回 逃走者はミッションにむかうのか！それとも・・・

いまさらだけどドラマパートにでてくる者たち（後書き）

未公開トークその？

ゲームがはじまる前。

銀時 「おい！ てめえら」

新八 「銀さん！ 何してるんですか」

神楽 「あの人たち何アルか」

銀時が声をかけたのは

トウヤ「うわぁ！銀さんだ」

トウコ「きゃー！格好いいわ」

N「思ったほど髪は銀じゃないな」

ゲーチス「何ですか、あなた方は」

クダリ「あっ！ノボリ、この人たちみたことあるよね！ほら、下ネ
タアニメの・・・」

ノボリ「クダリっ！確かにモザイクとかピーツとかありますけども・
・・」

ポケモンBWのメンバーだ

トウコ「あれ、チェレンとベルは？」

トウヤ「スタッフさんのところにいるけど」

銀時「だからきいてんのかー！」

トウヤ「うるせーな、何の用だよ？」

銀時「なんでゲーム枠のお前えらがでてんだよ！アニメキャラ逃走中だぞ！」

トウコ「そんな事言われてもなあ〜作者がでてみれば？っていったし」

銀時「何考えてんだあの作者・・・」

トウヤ「でもゲームキャラが一緒に盛り上がったりするんじゃないか？」

クダリ「そうだよ！ね？ノボリ」

ノボリ「クダリ！呼び捨てはだめですよ」

クダリ「何で？僕たちゲーム枠でしょ」

ノボリ「私たちもアニメでしたのだから、てっきりアニメ枠かと・・・」

クダリ「でもBWメンバーで逃走者として紹介されてたし」

ノボリ「でも題名はアニメキャラ逃走中ですし、まあ両方の枠なんですかね？」

クダリ「そうじゃないの？ノーボリ！」

ノボリ「まったくあなたという方は」

銀時「だから！！オレたち無視すんなよ！」

新八「銀さん結局何が言いたいんですか？」

神楽「そんなにあいづら気にいらないアルか？」

銀時「別にそういう訳じゃねーけど、でもアニメでてねえ奴らには

負けるかよ!」

クダリ「僕たちはで」

神楽「わかったから少し黙れネ」

こうして逃走劇がまくをあけた

ミッション2 パート1 (前書き)

更新ペースがみだれてきた様な気がする

ミッション2 パート1

残り60分になるとハンターリムジンがエリアに到着し10体のハンターが解放される。

エリア内にある10個のレバーを降ろせばハンターリムジンを追いつ返すことができる。

ただしエリアには6体のハンター

銀時「ハンターやっかいだけど行くしかねーだろ！」

銀時はミッションへと向かうようだ。

この逃走中にでている逃走者のほとんどはミッションに積極的だが・
・

元親「あのハンターって野郎ふえるのは御免だぜ・・・よし、行くか」

土方「まったく、これ以上真選組の奴らが捕まるのは・・・行くかねえ」

いつき「よっしゃー！行くべ」

ミッションに向かう逃走者たち。

しかし・・・

クダリ「んゝハンターが増えてミッション行くのはあぶないよね・・・
様子をみてからにしようかな」

元就「他の奴らに任せるか我のでる幕ではない」

妹子「みんなは行くのか？僕はどうすれば・・・」

なかにはミッションに行かない逃走者もいる。

N「レバーは10個か・・・ん？あれは」

エリアを歩くN、あるものをみつけた。

N「レバーだ！これを降ろすんだね、よいしょ！」

ガシャン！

N ミッションクリア

レバー残り9個

桂「ミッションか、行かなきゃこっちが困るしな・・・」

ミッションに向かう桂。

銀時「あつ、づら！」

桂「づらじゃない、桂だ」

銀時「うるせーな！づら、ミッション行くのかよ？」

桂「ああ、ハンター増えるのはやっかいだな」

銀時「そうか・・・ん？うわぁ！」

銀時はなにかを見つけて走りだした。

桂「銀時、どこへ行くのだ！って何い！？」

ハンターが桂に向かって走ってくる。

桂「銀時はハンターを見つけたのか、くそっ！」

まがり角を利用してハンターから逃げる。

桂「はぁ・・・まいたな」

うまくまいたようだ。

牢獄DEトーク

ハルヒ「あーもう、敗者復活戦とかないわけ〜!？」

山崎「まだ始まったばかりですよ」

近藤「さて何をしゃべれば」

そのころ逃走者たちは・・・

銀時「おっ! あったぜ」

銀時はレバーを見つけた。

銀時「おりゃ！」

ガシャン！

坂田銀時 ミッションクリア

レバー残り8個

銀時「この調子で行くか！」

レバーを降ろした銀時は勢いよく走りだした

迫るハンターリムジン！はたして逃走者たちはミッションクリアなるのか！？

次回 ミッションクリアに向けて走る逃走者たち、しかし続々と確保者が！

ミッション2 パート1 (後書き)

未公開トーク？月村サトシ編

月村「さて始まったな」

オープニングゲームがおわり月村は逃走者の監視をしていた。

望月「さて、初めのミッションどうしますか？」

月村「そうだな・・・金絡みのミッションにするか」

そう言って月村は画面に向き直るが・・・

月村「あれ・・・」

望月「どうしたんですか？」

月村は何度も画面をタッチして確認をする。

月村「控えのハンターが少なくなってる！」

望月「ああ・・・さっき帰りましたよ」

月村「何で!？」

望月「なんか昼飯の支度があるとかなんとかで」

月村「ちがーう!何か違うんだよね?ハンターそういうキャラじゃなくね?って言うか次のミッションハンターリムジンに乗せる人数少なくなるだろ!」

望月「はぁ・・・では連れもどしてきます」

月村「次のミッションには間に合わせてくれよ」

こうしてハンターはクロノス社に連れもどされたのだった。

月村 「ヒヤヒヤしたぜ・・・」

望月 「月村様・・・言葉が」

これからもお楽しみに！

ミッション2 パート2 (前書き)

久しぶりの更新！

ミッション2 パート2

ハンターリムジンを追いつためミッションに向かう逃走者たち

新八「レバーどこだ・・・僕もミッション成功させて活躍しなきゃな」

神楽「私も頑張るネ、銀ちゃんと新八に負けたくないアルよ」

レバーを探す新八と神楽。

そこにハンター・・・

神楽「レバーどこネ？見つからな・・・うわっ！」

新八「くっ！逃げるよ神楽ちゃん」

ハンターに気づき走りだした新八と神楽

ハンターが視界にとらえたのは・・・

新八「うわぁー!?!」

新八だ。

神楽「新八いー! やっぱりあいつは捕まるネ、まあ予想はしてたけど」

新八「ってめえ! 僕をそんなふうに・・・があっ!?!」

ポンツ 志村新八確保 残り49人

神楽「危ないネ・・・ん？」

神楽はレバーを見つけた。

神楽「うおっ！レバーネ！」

ガシャン！

神楽 ミッションクリア

レバー残り7個

土方「あと・・・6分？　まったく間に合わせねーとな・・・」

政宗「だな、小十郎とはぐれちまったしな」

土方「えっ・・・」

政宗「へっ・・・」

政宗・土方「同じ声!？」

そのころ・・・

小十郎「政宗様は大丈夫だろうか・・・ん？」

レバーを見つけた小十郎。

小十郎「何だ、この異様なものは・・・」

初めて見るレバーを警戒する小十郎。

カメラマン「小十郎さん、これがレバーですよ！上から下に降ろすんです」

小十郎「えっ・・・こうか」

ガシャン！

片倉小十郎 ミッションクリア

レバー残り6個

いつき「やばいべ！このレバーってやつどこにあるんだ？」

地図を見ながらレバーの位置を探すいつき。

律「あっ！いつきちゃん」

いつきと合流した律。

いつき「おー！どうしたただか？」

律「ミッションしてるんだけどレバーがどこにあるか知ってる？」

いつき「おらもレバー探してるだ〜！でも場所は知らないべ」

律「そっか〜困ったな・・・」

ハンターリムジンはエリアへと向かっている。

残り時間あと5分

元親「やべえ〜！レバーどこだ」

慶次「おっ！元親くミッションしてるのか？」

元親と合流した慶次。

元親「慶次！レバー見つけたか？」

慶次「まだ！そのレバーってのはどーいうかんじのヤツな訳？」

元親「えっ？それはくってうわぁ！」

ハンターが元親と慶次に向かって走る

元親「うわあああ！」

慶次「ちくしよおおお！」

ハンターから逃げる2人そこに・・・

唯「あー！元親さんと慶次さんくどうし・・・きゃー！？」

唯が合流した。

唯「きゃあゝ!？」

慶次「御免なあゝ唯ちゃん！」

元親「っ! あれは・・・2人とも悪い! オレこっち行くわ」

なにかを見つけた元親は曲がり角をまがる

慶次「えー!？ 元親あああ」

ポンッ 前田慶次確保 残り48人

唯「はあゝあぶなかった」

なんとかハンターをまいた唯。

唯「ん？あゝ！」

逃げたさきにレバーを見つけた唯。

唯「これ・・・だね？よいしょ！」

ガシャン！

平沢唯ミッションクリア

レバー残り5個

元親「あつた！これだよな？レバーって」

レバー所に駆け付けた元親

ガシャン！

長曾我部元親ミッションクリア

レバー残り4個

そのころ王国では・・・

王妃^{カミツレ} 「なんですって？」

国王（高杉） 「だからオレはこの伝説の武士が残した宝を探すんだよ」

王妃^{カミツレ} 「あなたは国王なのよ！？まずはこの騒ぎを治めるのが・・・」

国王（高杉） 「うるせえ！お前だって王妃なんだからそのぐらいの力はあるだろ？」

そう言うとき国王は部屋をでていった。

王妃^{カミツレ} 「何なの・・・まったく」

ハンターリムジン到着まで

残り3分となった

カイジ「おっしょー！レバーだー！！」

カイジがレバーを見つけ走る。

ガシャン！

カイジミッションクリア

レバー残り3個

トウヤ「誰か・・・ミッション成功させてくれよ・・・」

土方「もうハンターリムジンが到着するころだな・・・場所をかえるか」

だれもがミッションクリアを諦めかけていた

クダリ「あーっ！レバーだ」

ノボリの弟・クダリがレバーをみつけた

クダリ「えいっ！」

ガシャン！

クダリミッションクリア

レバー残り2個

クダリ「あと2つか・・・だれかがレバー降ろさないとハンターリ

ムジンが到着しちゃうな、ヤバイ・・・」

残りあと1分50秒

トウコ「ハンター増える前にどこかに隠れようかな・・・」

沖田「まったく・・・誰かレバー降ろせよ」

幸村「もうクリアは難しいでござるな・・・」

残り1分

政宗「おっと・・・」

何かを見つけた政宗。

政宗「l e v e rってこれじゃねえか？何だ、意外と簡単じゃ・・・
うわっ！」

ハンターに見つかった政宗

政宗「ちくしょっ！l e v e rが・・・」

ハンターが政宗を追った。

小十郎「政宗様・・・うわぁっ!？」

政宗「すまねえ! 小十郎く逃げてくれ! lever降ろせなかったぜ」

ハンターが視界にとらえたのは・・・

小十郎「政宗様く逃げてください!」

小十郎だ。

政宗「小十郎〜！」

ポンツ 片倉小十郎確保

残り47人

政宗「ちっ！どうすればいいんだよ・・・」

逃走者はミッションに行くリスクがともなってしまうため確保されやすい。

行くか・・・

それとも行かないのか・・・

それは逃走者次第だ

次回 ミッションの結果と親展するドラマ！

ミッション2 パート2 (後書き)

いまさらになって逃走者が多いと思った

ミッション2 パート3 (前書き)

ドラマのゲストもふやす予定です

ミッション2 パート3

あと2つレバーを降ろさなければハンターリムジンが到着する。

幸村「カメラマン殿！レバーの場所を教えてください！」

カメラマンにレバーの場所をきく幸村。

カメラマン「うわっ！そんなこと言われましても」

幸村「うむっ・・・どうしたら・・・おっ！」

歩きながら辺りを見わたす幸村。

幸村「レバーでござらあ！」

幸村はレバーを見つけると猛ダッシュで走った。

ガシャン！

真田幸村ミッションクリア

レバー残り1個

幸村「あと1つでござるなよし残りも探しに行くぞ」

レバーを見つけに幸村は走りだした。

牢獄

近藤「あと1分だぞ〜！」

ハルヒ「ちょっとヤバいんじゃないの？」

牢獄の者たちは口々に騒いでいた。

小十郎「政宗様・・・どうかご無事で・・・」

そのころ

政宗「An?あと50秒じゃねえか!やべえな・・・」

エリアを走る政宗。

政宗「あっ・・・もしかして」

政宗はとおくに何かを見つけた。

政宗「あったぜ、次は降ろさせてもらうからな！」

レバーを見つけた政宗は一気に走りだした。

しかし・・・

政宗「うわっ！」

前からハンターが走ってきた。

政宗「もう引き返すかよ！」

走ってくるハンターをぎりぎりでよけてレバーに向かいつき進む。

残り30秒

政宗「けっ！またかよ・・・」

辺りを搜索していたハンターが横から走ってきた。

政宗「あいにくオレはてめえらに構ってるひまはねえんだよ！
y o
u s e e ?」

残り20秒

政宗「おらぁあぁ！」

ハンターたちは政宗を追う

政宗はレバーに向かい手をのばす

残り10秒

いつき「誰かレバー降ろしてくんべ！」

ミッションクリアをいのるいつき。

そして・・・

ピリリリリリリリ

クダリ「ミッション・・・成功！よっしゃあ」

土方「N・坂田銀時・神楽・片倉小十郎・平沢唯・長曾我部元親・カイジ・クダリ・真田幸村・伊達政宗の活躍によりハンターリムジンを追い返すことができたか・・・」

ノボリ「クダリもミッションやったんですね！頼もしいです」

ミッション成功により歓喜の声をあげる逃走者たち

一方

王国では・・・

王妃^{カミツレ}「みなさん！おち着きなさい！！！」

住民「あっ！王妃様だ」

城からエリアにでた王妃。

王妃^{カミツレ}「この紙一枚でこんなに住民たちが騒ぐなんてね・・・武士が残した宝はあるかどうか知らないのよ、だから騒がないように」

貴族「でも王妃様！じゃあこの紙は誰がばらまいたんですか？」

この紙は月村サトシがエリアにばらまいたもの。

もちろんその事はこの国の住民たちや王妃や国王さらに逃走者たちは知らない。

王妃^{カミツレ}「さあ働いてる者は仕事にもどりなさい、この紙の事は私にまかせて」

王妃がそう言うと言民たちはそれぞれ帰っていった

その光景を見ていた逃走者たち

トウヤ「騒ぎはおさまったみたいだな・・・ってあれ」

トウコ「あの王妃ってよばれてる人さ、カミツレさんじゃない？」

クダリ「ドラマってすごい人とかでてるよね」

しかし・・・近くにハンター・・・

クダリ「ん？あれさ、ハンターじゃない？」

トウヤ「えっ？まじっすか!？」

トウコ「逃げましょ!」

ハンターに気づいたトウコたち

しかしべつのハンターに見つかってしまった。

トウコ「ぎゃあああ!？」

トウヤ「うわあああ!？」

クダリ「ぎゃあああ!？」

あまりのハンターの速さに恐怖と驚きで声をあげるトウコたち。

ハンターが視界にとらえたのは・・・

トウヤ「うそだろおおお!？」

トウヤだ。

ポンッ トウヤ確保 残り46人

トウコ「クダリさん!こっち」

クダリ「うん!」

建物の付近に隠れるトウコとクダリ

クダリ「トウヤの分まで頑張ろうね？」

トウコ「はいっ！」

一方・・・

宝を求めてこの王国に向かう者たち

そしてまだ明かされていない

第三の扉の物語

次回 いよいよあきらかになる扉の物語！そして逃走者たちの本性がではじめる

ミッション2 パート3 (後書き)

次の扉の物語がうごきだします！

逃げるのか守るのか戦うのか（前書き）

逃走中おもしろかったですね〜次で完結らしいけどどうなるんだろ
う

逃げるのか守るのか戦うのか

ゲームとドラマがリンクする逃走劇

政宗「あぶなかったぜ」

幸村「おみごとなり！政宗殿」

政宗と幸村は合流していた

政宗「で？真田幸村！これからどうすんだ」

幸村「む？とりあえずミッションがでるまで辺りで待機するでござる」

政宗「そうか、オレは探索にでもしにいくぜ！この王国にはおもしろいものがありそうだな」

そう言っていると政宗は走りだした。

幸村「政宗殿は相変わらずだな」

佐助「旦那！何してんの」

佐助が幸村と合流した。

幸村「佐助！」

佐助「旦那！ハンターに見つかんかった？」

幸村「うむ！なんとか」

佐助は幸村の肩に手をのせた。

佐助「旦那、聞いてくれ！オレはハンターにみつかんねえように他の逃走者の偵察に行ってたんだ」

幸村「ていさつ？なぜそのような事をするのだ？」

幸村は佐助に問うが佐助は話しを続けた

佐助「BASARAキャラ以外の逃走者とかいろんな奴の偵察した

んだけど・・・いろんな欲望がうずまいてるっていうか」

幸村「それは、なかには金がほしい者もいるかもしれぬが・・・」

佐助「旦那は誰を信用してんの？ほら、ミッション協力してくれような奴とかいる訳？」

いきなり聞かれ幸村は怯む

幸村「それは・・・もちろん佐助だ、あと政宗殿や片倉殿とか・・・」

佐助「はあっ・・・んで？あとは」

幸村「あと言って言っても・・・わからぬ」

佐助はハンターがいないか警戒しながら幸村に問い掛ける。

佐助「旦那が信用する人たち以外の奴らはどんなやつなのか旦那知らないでしょ？だから奴らといた時にハンターに見つかったら旦那みすてられるかもしれない・・・」

幸村「そんな事はござらん!!」

幸村が佐助に向かって叫んだ。

佐助「ちょ!旦那!?ハンターにみつかるでしょ!うるさいな」

幸村「佐助はそんな事をずっとおもいながら・・・このゲームをしていたのでござるか!?!」

珍しく幸村が感情的になった。

幸村「たしかに他の者たちがどんな人なのかわからぬが・・・だがこのゲームと一緒にでていると言う事は仲間でござる！お互いを信用してこそ信頼しあっていけるのではないのか？佐助」

佐助「オレは旦那のために言ったんだ！もつと警戒しなきゃ、信じれる奴がいるのか！周りをよくみなきゃ捕まっちゃうよ？」

幸村「オレはちゃんと警戒してる！ハンターとか・・・身内以外にもちやんと信じれる仲間はいるはずでござる！たぶん・・・」

佐助「ああ、そうかい！もう旦那なんか知らないから」

そう言って佐助は幸村をとびこえ走っていった

幸村「佐助・・・なんで？あんな事いうんでござるか」

幸村は走っていく佐助を見ながらつぶやいた。

そのころ・・・

土方「まだミッションはでねえか・・・しばらくここに隠れてるか」

沖田「ここまで逃げきれてラッキーでしたね、あいつらが捕まったおかげで」

沖田がしらつと言った。

土方「ああ？お前え、何言ってるんだ？あいつらって・・・」

沖田「ザキは一番に捕まって役に立たねえし、近藤さんも活躍なしで捕まっちゃうしなあゝだからあいつらが捕まったおかげで逃げやすくな・・・」

バキッ！

ドサッ！

土方が沖田を殴り沖田は地面に倒れた

沖田「いってえゝ何するんすか？土方さ・・・」

ドスッ！

土方は沖田の腹を蹴る。

カメラマン「だめですよ！土方さん」

土方「うるせえ！」

咳込む沖田に土方は言った

土方「役に立ってんだろ！山崎は最初に捕まっちゃったけど、それでオレたちは捕まらなかった！近藤さんはオレたちを庇って・・・」

沖田「庇った？近藤さんはお人よしですぜ」

土方「てんめえ！」

土方が沖田につかみ掛かった。

唯「ちよっ、何やってるんですか！」

唯が偶然通り掛かり土方と沖田のもとに走り寄った。

沖田「ああ・・・平沢か！大丈夫だよ、何もねえから」

唯「でも・・・土方さんが沖田さんにつかみ掛か・・・」

土方「平沢！それ以上言うなよ？ぶん殴るぞ」

土方が唯の前にきて言った

唯「ごっ、御免なさい・・・」

沖田「土方さん、女の子にそんな事言っちゃ」

土方「うるせえぞ！！お前とはゲームがおわるまで別行動だ！」

そう言うと土方は走っていった。

唯「沖田さん・・・私」

沖田「何でだろうな・・・オレ・・・何であんな言い方しかできねえんだろ・・・何で・・・はあっ・・・」

唯「沖田さん・・・」

唯は沖田にかける言葉を探していた。

唯「沖田さん！」

沖田「何だよ？オレの事はほっとけばいい・・・」

唯「私が沖田さんやみんなを．．．守ります！」

沖田は驚いた。

初めてそんな事を言われたからだ

沖田「うるせえよ！でもありがとな．．．唯」

唯「はい．．．！」

唯には沖田の表情が悲しげにみえた

一方・・・

第三の扉では・・・

ここでも伝説の宝の噂はつたわっていた。

信長「宝か・・・」

蘭丸「信長様〜！宝探し行きましょうよ」

織田信長の横ではしゃぐ少年は森蘭丸。

光秀「まったく子供ですねーいや、ガキと言った方がよろしいでしょうか？」

蘭丸「何だと！光秀くー！！」

濃姫「上総かみさのすけさまノ介様！」

信長の妻の濃姫が信長たちのもとに駆け付けた。

信長「どうした？濃よ」

濃姫「宝がある街に・・・あのBASARA者たちがいると」

信長がピクリと反応した。

信長「ほう、あやつらがいるとな・・・丁度いい機会だ」

そう言うと信長は立ち上がった。

信長「濃、蘭、光秀よ・・・」

濃姫・蘭丸・光秀「はっ！」

マントをバサツと羽織る。

信長「兵たちを整え進軍の準備をせよ！その宝がある王国に行くぞ、
どこの街に宝があるのかわかっているのか？」

濃姫「はい！場所は確認しております」

信長「よし、宝を頂くついでにBASARA者たちを打ちのめすか・
・・」

そう言うと信長たちは部屋をでていった。

次回 宝を手に入れるため王国に向かう松永久秀軍とマリオとピー

チそして織田信長軍！このドラマが逃走者たちをまきこんでいく！
そして沖田と唯の仲は恋に発展するのか

逃げるのか守るのか戦うのか（後書き）

ハンターの足の速さやっぱりすげえ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5845x/>

戦国BASARA×アニメキャラで逃走中

2012年1月9日20時51分発行